

久野恵一さんによる
ギャラリートーク
■2月23日(日) 午後1時半～3時
「手仕事いろいろ」

7階美術画廊
民芸巨匠展
■あす20日(金)～26日(木) (最終日午後5時閉場)

7階ギャラリー101
掛軸底値奉仕会
■あす20日(金)～26日(木) (最終日午後5時閉場)

Fukuya

福屋八丁堀本店
電話 (082)246-6111(代)/10階-午後7時半/金・土曜-10時-午後8時
広島市中区胡町16-26 <http://www.fukuya-dept.co.jp>

日本手仕事優品の会『民藝の教科書Ⅱ』

■あす20日(金)～2月26日(木) ■八丁堀本店7階美術画廊 (最終日午後5時閉場)

「最近若い世代が増えてきました」。嬉しそうに笑顔を見せるのは、もやい工藝の代表久野恵一さん。全国津々浦々を自ら歩き、それぞれの風土の中で息づいてきた手仕事を見出し、紹介してきた久野さん。手仕事を暮らしの中で楽しむ若い人たちが確実に増しているというのだ。

それに一役買っているのが、2年前から刊行が始まった『民藝の教科書』。久野さんがいまを生きる民藝を正しく楽しく紹介することをめざし監修しているもので、版を重ね、巻を重ねてすでに5冊が刊行済み。今回の福屋での展覧会は、主にその5巻目の「手仕事いろいろ」からの出展となる。人気の焼きもののほかに、はさみ、ほうき、蠟燭、和紙といったまさに地域で大切に使われてきた工芸品が多彩に並び見るだけでわくわくさせられる。今回で18回目を数える福屋での手仕事展。「広島はまだまだお歳の方も元気」。加えて若いファンもさらに増えそうだ。

若い世代にも確実に浸透。
ほんもの手仕事の魅力。



出品: 編組品(カゴザルなど樹皮・蔓・竹細工)・木漆工品・染織品・陶磁器 他